

青龍殿国宝青不動明王奉納演武大会

高田 寛次

好天に恵まれ気温も差ほど心配することもなく、平成二十七年十二月十二日（土）青龍殿国宝青不動明王奉納演武大会が將軍塚山頂大正武徳殿に於いて開催されました。

長野・茨城・東京・千葉・石川・愛知・大阪・奈良・京都の各支部・各団体から七十九名が参加されての大会でありました。

参加された先生方には初めて経験される武道場であり、多少の不安を感じられたかと思いますが、旧武徳殿とはひと回り縮小された大日本武徳会京都支部道場として大正年代に建立された武道場でありましたが、永年に亘る風・雨・雪等或いは管理不十分等に見舞われ老朽も激しく、解体の域に達した物件を青蓮院が譲り受けられ將軍塚山頂に再現建立されたものであります。

午後〇時五十五分、全員が拝殿に座し青蓮院門跡門主東伏見慈晃殿下のお読経を戴き乍ら護摩供が執り行われ火焰と共に祈願致しました。

午後一時四十五分、全員が集合写真に納まり開会式・開会宣言後、藤井正巳先生の居合術「祓の儀」が演武され、各団体による演武が順次披露された、時間的な制約もあり各々演武時間は七分以内と制限されましたが、演武された先生方には全て制限時間内の演武を終了されました。

先生方それぞれの演武は大変素晴らしく、青龍殿に訪れた拝観者の外国人から wonderful・素晴らしい日本の武道を初めて見たと感激して居られたのが大変印象的だった。

納の儀「双水執流武尊会・東京」伊藤學先生の見事な演武を拝見いたしました、閉会式には、演武された先生方の個人宛にご門主から『奉修青不動明王護摩供心願成就祈攸』の御札を拝受致しました。

護摩供での安全と武道への上達を祈願された証が、奉納演武大会は想定の時間内に無事終了することが出来ました。

山頂での日暮れは早く眼下の街の明かりがチラホラ目にする風景は私たちの生活圏とは異なった風情を感じられ夜の帳が下りた眺めも一段とその夜景が美しく、函館・神戸等々の夜景にも匹敵するのではないのでしょうか。

本会の行事といたしましては、青龍殿国宝青不動明王奉納演武大会が平成二十七年の行事納めとなりましたが、一般社団法人大日本武徳会は、平成二十八年度の行事計画が既に案内されております、先生方には尚一層のご研鑽と併せてご健康・ご多幸をお祈り申し上げます。

冬季青龍殿国宝青不動明王奉納演武大会に参加して

千葉一心無双流居合兵法 師範 村上 亨

平成二十七年十二月十二日（土）晴天の下、將軍塚、青龍殿・大正